

同時資料提供  
大阪科学・大学記者クラブ

平成23年5月10日  
大阪市立自然史博物館  
担当：学芸課主任学芸員 塚腰 実(地史研究室)  
電話 06-6697-6222

## 大阪市立自然史博物館 第42回特別展 「来て！見て！感激！大化石展」 の開催について

大阪市立自然史博物館では、平成23年7月2日（土）から8月28日（日）まで、特別展「来て！見て！感激！大化石展」を開催します。

化石は、何億年、何万年も前の生物の様子を私たちに伝えてくれます。本特別展では、巨大なゾウや恐竜の化石から、琥珀に閉じこめられた小さな昆虫の化石まで、化石の魅力を余すところなく紹介し、地球環境の変化とともに生物が移り変わってきた様子を体感していただきます。

ゾウの歯や足跡、マンモスの毛、石になった木など、化石は様々な状態で地層の中に残されています。また、化石は、何億年という時代の流れとともに生物の種類が移り変わってきた証拠です。これらの様々な状態や種類の化石を時代の流れに沿って展示することで、まるでタイムマシンで過去へ旅するように、「化石とは何か、どうやってできるのか、生物はどのように移り変わったのか」を学べる内容となっています。

注目の展示は、全長7.6mの巨大なコウガゾウ（黄河象）の全身骨格です。また、丹波竜・鳥羽竜などの恐竜化石を含む、近畿地方の化石が一堂に会するのも、本特別展の見どころの一つです。

はるかな時を超えて私たちに生命と地球の歴史を語りかける化石。子どもから大人のみなさんまで、この夏は自然史博物館に来て、化石をじっくり見て、化石の迫力、不思議さ、美しさ、面白さに感激していただければと思います。

### <主な展示品>

- 【コウガゾウ（黄河象）の全身骨格】日本のアケボノゾウとも関係が深い全長7.6mの全身骨格。
- 【250万年前の足跡化石】滋賀県で見つかったゾウとシカの足跡化石の型取り標本(5m×7m)。
- 【トバリユウ（鳥羽竜）の右大腿骨】三重県鳥羽市で見つかった恐竜化石。
- 【アンモナイト プラピトセラス】近畿地方で見つかった面白い巻き方をしたアンモナイト。
- 【コハクの中の昆虫化石】昆虫を閉じ込めた宝石のように美しいタイムカプセル。
- 【昆虫化石 トンボの一種】恐竜がいた時代のトンボの化石。
- 【石になった巨大樹幹化石】直径1.1m、重さ970kg。恐竜がいた時代の樹木にタッチ。
- 【 Gondwana大陸の証人 グロソプテリス】化石は地球の歴史を物語っている。

○プレス内覧会を開幕前日の平成23年7月1日（金）午前11時より自然史博物館本館集会室で行います。プレス内覧会取材申込書にて内覧会の前日までにファックスでお申込みください。

○広報用写真、読者・視聴者プレゼント用の招待券をご用意しています。  
広報写真申込書、招待券申込書もファックスでお申込みください。

## ■開催概要

- 1 名称 特別展「来て！見て！感激！ 大化石展」
- 2 主催 大阪市立自然史博物館
- 3 後援 日本古生物学会、日本第四紀学会、日本地質学会
- 4 展示協力 神奈川県立生命の星・地球博物館、きしわだ自然資料館、京都大学総合博物館、洲本市立淡路文化史料館、野尻湖ナウマンゾウ博物館、兵庫県立人と自然の博物館、三重県立博物館、和歌山県立自然博物館
- 5 会期 平成23年7月2日（土）～8月28日（日）
- 6 休館日 月曜日（ただし、休日の場合は翌日）
- 7 会場 大阪市立自然史博物館 ネイチャーホール  
（花と緑と自然の情報センター 2階）  
〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園 1-23  
TEL 06-6697-6221 FAX 06-6697-6225  
地下鉄御堂筋線「長居」駅下車3号出口・東へ800m  
JR阪和線「長居」駅下車東出口・東へ1000m  
ホームページ <http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>
- 8 観覧料 大人500円、高校生・大学生300円（30人以上団体割引あり）、中学生以下は無料。  
※ 本館（常設展）とのセット券は、大人700円、高大生400円。  
※ 障害者手帳などをお持ちの方、市内在住の65歳以上の方（要証明）は無料。  
※ 本館（常設展）、長居植物園への入場は別途料金が必要です（セット券を除く）。
- 9 開館時間 午前9時30分から午後5時まで（入館は午後4時30分まで）

## ■展示の内容

### 1. 化石とは何だろう

化石という言葉からは「石に変化したもの」というイメージをもってしまいます。しかし、化石本来の意味は、「過去の生物の体または生活の痕跡」です。生物の体そのまま残っている化石もあれば、痕跡だけの化石もあります。「化石とは何か、どうやってできるのか、化石から何がわかるのか、人類と化石の関わり」について標本をもとに紹介します。

### 2. 地球と生命の誕生

地球は46億年前に誕生し、海の中に生命が出現したのは38億年前です。35億年前になると光合成により酸素を放出するシアノバクテリアが出現し、地球の大気の組成を変化させていきました。38億年前の岩石、酸素を放出したシアノバクテリアがつくった岩石などをもとに、地球と生命の誕生を解説します。

### 3. 海から陸へー古生代の生物

約5億3600万年前の古生代カンブリア紀の海で脊椎動物をはじめとする多くの動物の系統が爆発的に出現しました。約5億年前になると大気中の酸素の濃度が十分になりオゾン層がつくられ紫外線をさえぎり、生物が海から陸へ進出しました。カンブリア紀の海にいた動物、初期の陸上植物、約3億年前の大森林を

つくった植物とその森にいた昆虫（巨大トンボ メガネウラ）などを展示します。また、近畿地方から産出している古生代の化石を展示します。

#### 4. 恐竜がいた時代—中生代の生物

中生代は恐竜が栄えた時代です。陸上植物では裸子植物が、海の中ではアンモナイトが栄えていました。兵庫県、和歌山県、三重県から発見されている恐竜の化石を一堂に集めて展示します。琥珀に閉じこめられた昆虫化石、裸子植物の化石、和泉山脈から見つかるアンモナイトや二枚貝などを展示します。約2億3000万年前の直径1.1mの樹幹化石には触れることができます。また、日本列島の歴史の解明に大きな役割をはたした放散虫（海にすむ単細胞のプランクトン）の化石とその研究成果を紹介します。

#### 5. 日本列島ができた頃

約1600万年前に東アジア大陸の東端が地殻変動により分かれ、裂け目に海が入って日本海ができ、日本列島が形成されました。大陸の時代と日本列島になった時代の植物、昆虫、貝の化石を展示します。また、植物化石から明らかになった気候の移り変わりを紹介します。

#### 6. 大氷河時代そして今

約260万年前から寒冷化が始まり、大氷河時代になります。大氷河時代には、それまで日本列島にいた多くの種類の生物が絶滅し、あらたな種類の生物が現れて、現在に至っていることを紹介します。日本列島にいたゾウやワニなどの動物化石、メタセコイアなどの植物化石、昆虫化石を展示します。また、日本のアケボノゾウとも関係が深い中国のコウガゾウ（黄河象）の全身骨格（全長7.6m）、滋賀県野洲川の河床で見つかったゾウの足跡化石群（模型：広さ7m×5m）を展示します。

総展示標本数：約900点。

#### ■ 主な展示品 ※広報用関連画像あり

【コウガゾウ（黄河象）の全身骨格】日本のアケボノゾウとも関係が深い全長7.6mの全身骨格。新生代第四紀。

中国甘粛省で発見された、およそ250万年前のステゴドンのかまの化石。肩の高さは3.8mあり、同じ時代に日本に住んでいたアケボノゾウの2倍もある。牙の長さは3mを超える。（三重県立博物館所蔵・撮影）



【古琵琶湖層群産の足跡化石】滋賀県で見つかったゾウとシカの足跡化石の型取り標本。新生代第四紀。

1988年に滋賀県湖南市（当時は甲西町）三雲の野洲川河床で、約250万年前の長鼻類（ゾウ）とシカ類の足跡化石が発見された。その一部（5m×7m）を型取りし、レプリカとして保存したもの。



**【トバリユウ（鳥羽竜）の右大腿骨】三重県鳥羽市で見つかった恐竜化石。**

中生代白亜紀前期（約1億3000万年前）。

1996年に三重県鳥羽市の海岸で発見された。竜脚類の中のティタノサウリア類。全長16～18m、体重は31～32トンと推定されている。竜脚類1個体分の骨が多数見つかったのは、日本では初めてだった（長さ1280mm）。（三重県立博物館所蔵・撮影）



**【アンモナイト プラビトセラス】近畿地方で見つかった面白い巻き方をしたアンモナイト。**

産地：兵庫県南あわじ市。時代：中生代白亜紀後期（約7000万年前）

和泉層群で発見されている異常巻きアンモナイト。最初の数巻きは渦巻き状に巻いた後、それまでの巻きから離れて逆方向に巻くようになり、S字状の形態になります。くわしく調べると右巻きと左巻きの2つの型があることがわかっています。長さ24cm。



**【コハクの中の昆虫】昆虫を閉じ込めた宝石のように美しいタイムカプセル。**

（左：ジガバチモドキの仲間、右：カ（蚊）の仲間）

産地：ドミニカ共和国産。時代：新生代漸新世後期（約2600万年前）。

コハクは植物から出される樹液（松ヤニのようなもの）が固まって化石となったものである。中にはしばしば、当時周辺に生息していた昆虫などを、そのまま取り込んで化石になったものがある。これらは毛の一本一本までが観察できるほどよく保存されており、そんな大むかしの生き物とは思えないほどである。コハクの大きさ：15mm。



**【昆虫化石 トンボの一種】恐竜がいた時代のトンボの化石。**

産地：ブラジル・セアラ州産。時代：白亜紀前期（1億1000万年前）。

この時代から産出する昆虫化石は、形も大きさも、すでに現代と似たようなものばかりである。このことは現在の地球上で最も繁栄している昆虫類が、古い時代にすでに体制を整え、地球上での地位を確立していたことを意味する。当時は恐竜の栄えていた時代。これらのトンボを捕まえて食べていた恐竜も、きっと多くいたことであろう。体長35mm。



**【石になった巨大樹幹化石】恐竜がいた時代の樹木にタッチ。**

産地：アメリカ。時代：中生代三畳紀（約2億3000万年前）。

この巨大な化石は、ナンヨウスギの幹の化石です。幹が地層に埋もれた後に、樹木の細胞が鉱物に置き換えられ、石になったもの。触ってみることができる標本。直径1.1m、重さ970kgもある。ナンヨウスギは、スギと同じ球果類の植物であるが、スギ科ではなく、ナンヨウスギ科のナンヨウスギ属に含まれている。「南洋杉」が意味するように、現在は南アメリカ、ポリネシア、オーストラリアといった南半球に離れて分布している。

化石の記録から、ナンヨウスギは、中生代には南北両半球に広く分布し、その後、新生代には北半球では消滅し、現在では南半球にのみ分布するようになったと言える。（神奈川県立生命の星・地球博物館所蔵）



**【ゴンドワナ大陸の証人 グロソプテリス】化石は地球の歴史を物語っている。**

産地：オーストラリア。時代：古生代ペルム紀（約2億7500万年前）。広葉樹の葉のように見えるが裸子植物の仲間。グロソは「舌」の意味で、舌のような形の葉をもつことからこの名がある。グロソプテリスの化石が、今は遠く離れている、南アメリカ、アフリカ、インドの各大陸で発見され、これら的大陸がかつては一つにつながってゴンドワナ大陸をつくっていた証拠となった。右上の葉：長さ11cm



## 関連行事

子供向けワークショップ、セミナー、化石観察会を行います。

### ■大化石展・子どもワークショップ 1

#### ぐるぐる 消しゴム アンモナイト

ねりけしを コネコネして、アンモナイトの標本の型に入れて…。ポコッと出したら 消しゴムのできあがり。

日：7/16(土)、17(日)、18(祝・月)、23(土)、24(日)、8/13(土)、14(日)、20(土)、21(日)

時間：11：30、13：30、15：30(1回約60分のプログラムです。)

場所：自然史博物館 ネイチャーホール(花と緑と自然の情報センター2階)

対象：小学生以上(定員に余裕のある場合には、小学生未満のお子様もご参加いただけますが、必ず保護者の方が、ご同伴ください。)

定員：1回10名

材料費：200円

受付：当日受付(スタートの10分前より受付を開始します。)

<保護者のみなさまへ>

○プログラムの終了時間は、お子さまの制作されるペースによって変わります。

○高校生以上の方が、プログラムに参加される場合や、お子様のつきそいでご入場の際は、特別展への入場料が必要です。(大人500円、高校生・大学生300円)

○プログラムの内容と安全確保のため、定員になり次第受付を終了します。また、途中参加はできません。

### ■大化石展・子どもワークショップ 2

#### ハカセとハッケン! 地そうと化石

大昔からの砂やどろがつもってできた地そうには、いろいろな化石が うまっているよ。

ハカセが地そうから化石をほりだすように、化石カードを見つけて てんじしつで ほんものの化石をさがしてみよう。自分だけの化石標本カードをつくるよ。

日：7/30(土)、31(日)、8/6(土)、7(日)、27(土)、28(日)

時間：11：30、13：30、15：30(1回約60分のプログラムです。)

場所：自然史博物館 ネイチャーホール(花と緑と自然の情報センター2階)

対象：小学生以上(定員に余裕のある場合には、小学生未満のお子様もご参加いただけますが、必ず保護者の方が、ご同伴ください。)

定員：1回10名

材料費：100円

受付：当日受付(スタートの10分前より受付を開始します。)

<保護者のみなさまへ>

○プログラムの終了時間は、お子さまの制作されるペースによって変わります。

○高校生以上の方が、プログラムに参加される場合や、お子様のつきそいでご入場の際は、特別展への入場料が必要です。(大人500円、高校生・大学生300円)

○プログラムの内容と安全確保のため、定員になり次第受付を終了します。また、途中参加はできません。

### ■ 特別展講演会「アラスカ発、大阪のアンモナイト」

大阪の南にそびえる和泉山脈のふもとは、古くからアンモナイト化石の産地として知られてきました。和泉山脈と同じ中生代白亜紀末(およそ7,000万年前)のアンモナイト化石を研究している重田さんは、北海道やサハリン、アラスカなどの化石と和泉山脈産の化石を比較してその類似性など興味深い成果を出されつつあります。アンモナイトについての基礎的なことから研究の最前線の話まで、フィールドの第一線で活躍する研究者に講演していただきます。

【日 時】 7月24日(日) 午後1時30分から3時30分

【場 所】 自然史博物館 講堂

【講 師】 重田康成(国立科学博物館 環境変動史研究グループ研究主幹)

【対象】 どなたでも参加できます

【参加費】 無料(ただし、自然史博物館本館入館料が必要)

【参加方法等】 申込みは不要です。直接会場へお越しください。

### ■ 自然史オープンセミナー・大化石展シリーズ

特別展「来て！見て！感激！ 大化石展」の開催にちなみ、博物館学芸員が展示内容に関連した内容を紹介します。

【日 時】 5月21日(土)、6月18日(土)、7月16日(土)、8月20日(土)

いずれも午後3時～4時30分

【場 所】 自然史博物館 集会室

【内容】

5月：「化石からたどる植物の進化と植生の移り変わり」塚腰 実(地史研究室)

6月：「昆虫化石」初宿成彦(昆虫研究室)

7月：「プランクトン化石が語る地球の話」川端清司(地史研究室)

8月：「ヤベオオツノジカとヘラジカ」樽野博幸(地史研究室)

【参加費】 無料(ただし、自然史博物館本館入館料が必要)

### ■ ジオラボ(5月)「ミクロの化石」

三重県鳥羽市で見つかった「鳥羽竜」の発掘調査で、採集した試料から取り出した、約1億2千万年前の放散虫というプランクトンの化石を観察します。鳥羽竜の生きていた時代を教えてくれる化石を、実体顕微鏡で観察しながらさがしてみましよう。

【日 時】 5月14日(土) 午後2時30分～3時30分

【場 所】 自然史博物館本館 ミュージアムサービスセンター

【対象】 どなたでも参加できます(小学生以下は保護者の同伴が必要)

【参加費】 無料(ただし、自然史博物館本館入館料が必要)

【参加方法等】 申込みは不要です。直接会場へお越しください。

### 化石観察会

#### ■ テーマ別自然観察会「氷期の昆虫と植物の化石」

昆虫と植物の化石の観察会を行います。2万数千年前、日本列島は現在よりも7度ほど気温が低く、北

日本にすむ生物が関西にも多く分布していました。当時の地層を割り出して、それらの昆虫や植物を探しましょう。

【日 時】5月29日（日）終日 雨天中止

【場 所】滋賀県彦根市方面

【対象】小学生以上（小学生には保護者の同伴が必要）

【定員】30名（定員を超えた場合は抽選）

【参加費】100円（小学生50円。自然史博物館友の会会員は無料）

【参加方法等】往復はがき、または電子メールに「氷期の昆虫と植物の化石に参加希望」と明記の上、希望者全員の名前、年齢、住所、電話番号、返信連絡先（往復はがきには返信用の宛名）を書いて、5月16日（月）までに届くように、自然史博物館普及係宛に申し込んでください。自然史博物館ホームページからも申込みできます。抽選の結果や集合場所など、詳しい参加方法等は返信でお知らせします。

#### ■テーマ別自然観察会「白亜紀の化石」

中生代白亜紀の化石の観察会を行います。泉佐野市付近に分布する地層から、約7,000万年前の化石を探してみましよう。

【日 時】7月23日（土）午前10時～午後2時 雨天中止

【場 所】泉佐野市方面

【対象】小学5年生以上（小学生は保護者の同伴が必要）

【定員】50名（定員を超えた場合は抽選）

【参加費】100円（小学生50円。自然史博物館友の会会員は無料）

【参加方法等】往復はがき、または電子メールに「白亜紀の化石に参加希望」と明記の上、参加者全員の名前、年齢、住所、電話番号、返信連絡先（往復はがきには返信用の宛名）を書いて、7月12日（火）までに届くように、自然史博物館普及係宛に申し込んでください。自然史博物館ホームページからも申込みできます。抽選の結果や持ち物など、詳しい案内方法等は返信でお知らせします。

#### ■テーマ別自然観察会「250万年前の植物化石」

植物化石の観察会を行います。岸和田市付近に分布する地層から、約250万年前の植物の種子や果実の化石を探してみましよう。

【日 時】7月31日（日）午前9時～午後2時 雨天中止

【場 所】岸和田市

【対象】小学生以上（小学生には保護者の同伴が必要）

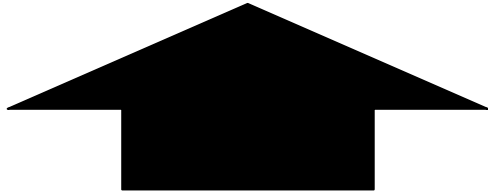
【定員】25名（定員を超えた場合は抽選）

【参加費】100円（小学生50円。自然史博物館友の会会員は無料）

【参加方法等】往復はがき、または電子メールに「250万年前の植物化石に参加希望」と明記の上、参加者全員の名前、年齢、住所、電話番号、返信連絡先（往復はがきには返信用の宛名）を書いて、7月16日（土）までに届くように、自然史博物館普及係宛に申し込んでください。自然史博物館ホームページからも申込みできます。抽選の結果や集合場所など、詳しい参加方法等は返信でお知らせします。



## <FAX送信>



FAX. 06-6697-6225

送信先：大阪市立自然史博物館

総務課広報 宛

TEL.06-6697-6222, FAX.06-6697-6225

〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園 1-23

### 特別展「来て！見て！感激！ 大化石展」

## プレス内覧会 取材申請書

プレス内覧会における取材をご希望される方は、下記該当箇所をご記入の上、総務課広報宛にFAXにてご返信ください。

### ■ プレス内覧会

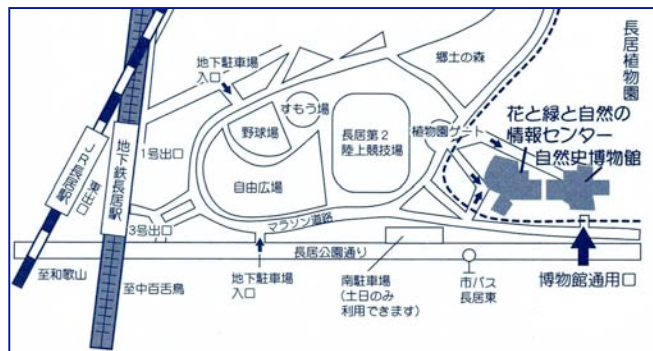
〔日時〕平成23年7月1日（金）

午前11時～

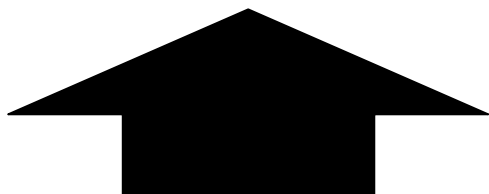
〔会場〕大阪市立自然史博物館

本館 集会室

※博物館通用口からお越しください。



貴社名	
媒体名	
所属部署／ご担当者名	
人数（カメラ含む）	
ご住所	〒
ご連絡先	TEL. <span style="margin-left: 200px;">FAX.</span> e-mail.



F A X . 0 6 - 6 6 9 7 - 6 2 2 5

## <FAX送信>

送信先：大阪市立自然史博物館

総務課広報 宛

TEL.06-6697-6222, FAX.06-6697-6225

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23

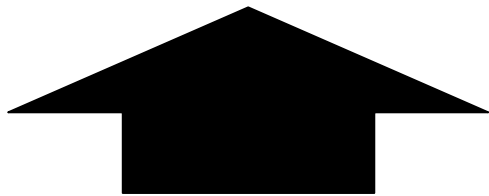
## 特別展「来て！見て！感激！ 大化石展」

会期中、会場内における取材を希望される方は、下記該当箇所をご記入の上、原則、取材の3日前までにFAXにてお送りください。なお撮影時間につきましては、会場の混雑状況などにより、事前に調整させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。また、貴媒体内での読者・視聴者プレゼントに限り、本展を観覧できる常設展の招待券を10組20名様分、ご提供させていただきます。

お手数ですが、掲載媒体を1部（掲載紙・誌、ビデオ、カセット、MDなど）お送りくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 取材申請・招待券申込書

貴社名	
媒体名	
所属部署／ご担当者名	
取材日	平成23年 月 日 ( ) : ~ :
人数 (カメラ含む)	
ご住所	〒
ご連絡先	TEL. FAX. e-mail.
掲載記事・放送番組名	
掲載日 (発行日) 放送日時	
招待券 (いずれかに○)	希望する 希望しない



## <FAX送信>

FAX. 06-6697-6225

送信先：大阪市立自然史博物館内

総務課広報 宛

TEL.06-6697-6222 FAX.06-6697-6225

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23

## 特別展「来て！見て！感激！ 大化石展」

### 広報用画像申込書

本展覧会の広報用画像をご用意しております。ご希望の画像に○印をつけ、下記にご記入の上、ご返信ください。

- ・ 画像使用は本展のご紹介のみとさせていただきます。（掲載期間：平成23年8月28日まで）使用後は、データは破棄してください。
- ・ 掲載記事・番組内容については、基本情報確認のため、ゲラ刷り・原稿の段階で総務課広報宛までFAXまたはメールをお送りください。また、掲載媒体を1部（掲載紙・誌、DVD、ビデオ、カセット、MDなど）を総務課広報宛にお送り下さい。

No	画像名	ご希望に○
①	コウガゾウ(黄河象)の全身骨格	
②	古琵琶湖層群産の足跡化石	
③	トバリユウ(鳥羽竜)の右大腿骨	
④	アンモナイト プラビトセラス	
⑤	コハクの中の昆虫(左：ジガバチモドキの仲間、右：カ(蚊)の仲間)	
⑥	トンボの一種	
⑦	石になった巨大樹幹化石	
⑧	ゴンドワナ大陸の証人 グロソプテリス	

貴社名・媒体名	
掲載・放送予定日	
所属部署／ご担当者名	
ご住所	〒
ご連絡先	TEL. FAX. e-mail.